

10 コンデンサ・リアクトルの保守点検項目

コンデンサの保守点検項目

No.	点検項目	点検方法	点検要領及びポイント	点検周期	異常の推定原因と対策	
					推定原因	対策
1	端子部のゆるみ	目視及び締付チェック	①端子部の過熱はないか ②変色していないか	1年	締付部のゆるみ	増締め
2	碍子の破損	目視	①碍子のひだ欠けはないか	1年	碍子への衝撃	製品の交換
3	ケース膨れの異常膨れ	目視及び測定	ケース膨れの目安（片側） 10.6～53.2kvar 10mm以内 79.8～106kvar 15mm以内 160～319kvar 20mm以内 426～532kvar 25mm以内	1年	内部故障	直ちに運転を停止し 弊社へご連絡
4	油漏れ	目視	①油漏れはないか	1年	碍子部、溶接部のシール不足	弊社へご連絡
5	ケース等の発錆	目視	①端子部に発錆箇所はないか ②溶接箇所に発錆箇所はないか	日常	雨水、水滴の付着	水分浸入の防止、再塗装
					特殊ガスの存在（悪環境）	ガス侵入の防止
6	異臭	嗅ぐ	①放電によるオゾン臭はないか ②異常温度上昇はないか	日常	外部コロナ発生	原因を究明し対策実施
					過負荷	電圧、電流を調査
7	異常音	聴く	①内部または外部から異常音が発生していないか	日常	内部故障	弊社へご連絡
					高調波または他機器が発生するノイズの侵入	電流及び他機器の調査
					締付部のゆるみ	増締め
8	ケース温度上昇	温度計	①サーモラベルによる監視が容易 ②定格運転で上昇値15℃以下 （ケース高さ2/3H）	1年	過負荷	電圧、電流の調査
					内部故障	弊社へご連絡
9	保護装置	目視ほか	①端子台の発錆 ②リード線締付け状態	1年	湿気、ガスの存在（悪環境）	侵入防止、研磨
					締付部のゆるみ	増締め
10	絶縁抵抗の測定	メガー	①全端子一括とケース間 1000MΩ以上	1年	内部故障	弊社へご連絡
					碍子の重汚染	再度清掃
11	静電容量の測定	Cメータまたは電圧電流計法	①定格容量の-5～+10%以内 ②任意の2端子間の容量の最大値と最小値との比は1.08以下	1年	内部故障	弊社へご連絡

リアクトルの保守点検項目

No.	点検項目	点検方法	点検要領及びポイント	点検周期	異常の推定原因と対策	
					推定原因	対策
1	端子部のゆるみ	目視及び締付チェック	①端子部の過熱はないか ②変色していないか	1年	締付部のゆるみ	増締め
2	碍子の破損	目視	①碍子のひだ欠けはないか	1年	碍子への衝撃	製品の交換
3	油漏れ	目視	①油漏れはないか （溶接部、ガスケット部）	1年	碍子部、溶接部のシール不足	弊社へご連絡
4	ケース等の発錆	目視	①端子部に発錆箇所はないか ②溶接箇所に発錆箇所はないか	日常	雨水、水滴の付着	水分浸入の防止、再塗装
					特殊ガスの存在（悪環境）	ガス侵入の防止
5	異臭	嗅ぐ	①放電によるオゾン臭はないか ②異常温度上昇はないか	日常	外部コロナ発生	原因を究明し対策実施
					過負荷、高調波流入	電圧、電流を調査
6	異常音	聴く	①内部または外部から異常音が発生していないか	日常	内部故障	弊社へご連絡
					高調波または他機器が発生するノイズの侵入	電流及び他機器の調査
					締付部のゆるみ	増締め
7	ケース温度上昇	温度計	①サーモラベルによる監視が容易 ②定格運転で温度センサ取付部の上昇値45℃以下（油入仕様の場合）	1年	過負荷、高調波流入	電圧、電流の調査
					内部故障	弊社へご連絡
8	絶縁抵抗の測定	メガー	①全端子一括とケース間 1000MΩ以上	1年	内部故障	弊社へご連絡
					碍子の重汚染	再度清掃
9	油の劣化	採油	①油が褐色化していないか	5年	温度上昇	弊社へご連絡